



鈴峰中だより

令和7年 9月 1日

第13号

校訓『明るく 美しく 楽しく』

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhreiho>

鈴鹿市立鈴峰中学校

2学期もどうぞよろしくお願いたします!!

44日間の夏休みが終わり、子どもたちの明るい笑顔と元気な声が、学校にもどってきました。夏休み中、保護者や地域の皆様には、子どもたちの生活を見守っていただき、ありがとうございました。職員の方は、子どもたちがいない学校に寂しさを感じつつ、各種研修会に参加してスキルアップに取り組んだり、9月からの教育活動に向けて準備をしたりしてきました。

さて、今年は夏休み前から連日、全国各地で熱中症警戒アラートが発令され、夏休み中も厳しい暑さの日が続きました。また、水難事故や交通事故、熱中症による救急搬送、地震や台風による災害など、さまざまな被害がニュースとして報じられました。しかし、本校では大きな事故やけがもなく、みんなで2学期の始業式を迎えられたことを嬉しく思います。



鈴峰中学校区夏季研修会の様子

2学期は、文化祭（合唱コンクール）をはじめ、職業体験学習（2年生）、中体連新人大会、生徒会後期役員選挙、中間・期末テストなど、たくさんの学校行事・学年行事が予定されています。長期予報によると、9月もまだまだ暑い日が続きそうです。学校では、熱中症予防にも十分注意を払いながら、2学期の教育活動に取り組んでまいります。そして、子どもたち一人ひとりの力をしっかり伸ばし、成長をたくさん感じることができる「実りの2学期」になるよう、職員一同、努力してまいります。保護者や地域の皆様には引き続きのご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

令和7年度 鈴鹿市立小中学校「卒業証書授与式」および 鈴鹿市立幼稚園「修了証書授与式」の日程について

先日、鈴鹿市教育委員会において、令和7年度の鈴鹿市立小中学校の「卒業証書授与式」および鈴鹿市立幼稚園の「修了証書授与式」の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

鈴鹿市立中学校「卒業証書授与式」：令和8年3月 6日（金） 午前10時～

鈴鹿市立小学校「卒業証書授与式」：令和8年3月19日（木） 午前10時～

鈴鹿市立幼稚園「修了証書授与式」：令和8年3月23日（月） 午前10時～

*開始時刻につきましては、一部の幼稚園・小中学校で変更となる場合があります。

9月1日は「防災の日」です ~自分の命は自分で守る~

今日、9月1日は「防災の日」です。これは、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災を教訓とし「広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」ために制定された日です。この日は、全国各地で避難訓練等が行われたり、ニュース等でも取り上げられたりと、あらためて防災について考えたい日であり、地震や台風などが起きたときに備える大切な日でもあります。

また、8月にはカムチャツカ半島の巨大地震による津波警報が出されたり、集中豪雨や台風による大きな被害があったりと、私たちに「日頃からの備えをしっかりとしておくように…」と戒められるような事象が続きました。学校でも今まで以上に気持ちを引き締めて、防災学習や避難訓練等に取り組んでまいります。

最近の研究によれば、南海トラフ地震や東南海地震などの直下型の巨大地震が、そう遠くない将来に発生する可能性が高いと言われています。地震はいつ来るかわかりませんが、過去に起きた地震とその周期、ここ数年の地震の発生状況等を考えると、いつ起きても不思議ではないととらえておくのがよいのでしょうか。

しかし、私たちは、地震や台風などの自然災害に対して不安や心配を募らせるよりも、もしも地震が発生したときにどう行動すればよいのか、どうすれば被害を少なくできるのか、といった対策に力を注ぐべきだと思います。では、もし自然災害が発生したとき、どうすればよいのでしょうか…。

まずは、命を守ることが最優先課題となります。そのためには『自分の命は自分で守る』という気持ちが大切です。具体的には、少しでも安全な場所はどこなのか、どこへ避難すればよいのか、身を守るための行動はどうすればよいのかなど、防災に対する知識と、とっさの場面でも正しい判断や行動ができるようにしておくことが大切です。学校では、学期ごとに避難訓練をしたり、防災学習をしたりしています。ご家庭でも、災害時の安否の確認方法や集合場所等についても話題にさせていただくとよいかと思います。備えあれば憂いなしです。



戦後 80 年の夏… ~平和への想いを新たにする年に~

今年の夏、戦後 80 年という節目の年を迎えました。太平洋戦争では、多くの尊い命が失われ、日常が奪われました。先人たちは「二度と戦争を繰り返さない」と強く誓い、戦後の日本を築いてきました。そして、私たちは今、その努力の積み重ねの上に、戦争のない時代を生きています。しかし、世界に目を向けると、今もなお、紛争や戦火に苦しむ地域があり、子どもたちが安心して学び育つことすらままならない現実があります。

平和とは、ただ戦争がない状態を指すのではありません。それは、人々がお互いに理解し合い、尊重し合い、調和の中で共に生きることではないかと思います。学校は、この大切な価値を次世代に教え、伝える場所でもあります。平和を築くには、まず私たち一人ひとりの意識が変わり、行動に反映される必要があります。日々の生活の中で、小さな対話や思いやりのある行動が平和への第一歩ではないでしょうか…。